



## 白子駅周辺の雨水排水対策について

9月議会一般質問で、2つ質問しました。

① 白子駅周辺は鈴鹿市の玄関口として開発が進められ、新たな賑わいを取り戻しつつある。しかし、近年の台風及びゲリラ豪雨の大雨に対しては、排水が追いつかず、道路冠水及び床下浸水等の浸水被害がたびたび出ている。江島都市下水路と同規模の、大きな都市下水路が必要ではないか、と質問しました。

答弁要旨は、白子駅周辺については、新生公園雨水貯留池をはじめ、全ての浸水対策が100%機能しているにもかかわらず、浸水被害が発生している状況を踏まえ、平成3年に策定した「白子地区浸水対策検討書」の見直し、白子第3排水機場等の老朽施設の更新計画、ならびに当地区において、江島ポンプ場への流入渠のような地下への大きな施設を埋設するなど、さまざまな選択肢を考慮し、浸水対策施設整備計画を策定してゆくとのことでした。一刻も早い計画策定と実行が、望まれます。

② 6月議会に続いて、高齢者の「生活交通」について、福祉部門の課題として調査研究すべきでないかと質問しました。

答弁要旨は、「高齢になって運転ができなくなると不便になるとの声や、加齢に伴う交通安全上の問題に家族としても不安を感じている方が多数みえることなど高齢化の進展により、今後さらに状況が厳しくなることは認識している」、しかし「有償、無

償に関係なく、既存の交通事業者との協議も必要になることから、本市全体の公共交通のあり方について、今後どうあるべきかを公共交通会議の中で議論する過程で、市民の意向や実態を取り入れられるべきものとする」と、6月議会での答弁と変わらぬ内容でしたが、鈴鹿市の公共交通をどうするかということが検討課題になった時に、そのなかで、議論していくとの答弁は一步前向きに受け止めていただいたものと思います。

今年、6月9日に国土交通省が「交通政策白書」を発表しました。それを報じた産経新聞の記事の見出しは「高齢者に『生活の足』を～初の交通政策白書、閣議決定」というものでした。これは、この間、私が問題提起している内容と同じではないでしょうか。次回、公共交通部局に質問します。



9月議会最終日、日本共産党市議団を代表して討論に参加しました。詳しくはホームページをご覧ください





# 初めての行政視察



7月28日から2泊3日で、生活福祉委員会の視察に行ってきました。

①東京都世田谷区 地域包括ケアシステム  
人口 約87万人(5総合支所、小学校64校、中学校29校)。27地区に、地域包括支援センター=愛称「あんしんすこやかセンター」設置。職員数は各5~7人。国の基準プラス1名位。

出張所・まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会の3者による身近な福祉相談の充実と地区の人材や社会資源の開発・協働にとりくんでいる。相談対象は、高齢者に加え、障害者や子育て家庭、若者、生活困窮者にも支援を拡大。職員研修、相談支援マニュアル作成。

「あんしんすこやかセンター」という愛称は、「地域包括ケアセンターでは解りにくい」という職員の声から決めたとのこと。いきいきふれあいサロン(半日)524団体、支えあいミニディ(食事付)80団体など高齢者支援活動が活発に行われている。シニアボランティア・ポイント事業や、空き家利用では、一般財団法人「世田谷トラストまちづくり」制度などもある。

②新潟県長岡市 地域包括ケアシステム  
人口約28万人 地域包括支援センターは11ヶ所。社会福祉法人「こぶし園」を中心に、多彩な事業推進。

小学校区(市立61校)ごとに、コミュニティーセンター(嘱託職員数名配置)があり、地域社協を中心に、ボランティア活動が活発に行われている。「はつらつ広場」23団体が週1回介護予防事業。介護予防サークル319団体への支援など。

③静岡県富士市 地域の力こぶ増進計画、地区まちづくりセンター

H20から、26小学校区ごとにあった公民館を、「まちづくりセンター」に移行。

正規職員3名と嘱託職員1名を配置し、地区まちづくり活動の支援、地区と行政のパイプ役機能をセンターの役割として明確化し、まちづくり活動をソフト面で支援。これまで10館に設置していた市民サービスコーナーを、すべてのまちづくりセンターに配置。市職員向け「まちづくりハンドブック」作成など、職員の「まちづくり」への参画促進。

視察事項には入っていないが、2012年に開館した長岡市の「アオーレ長岡」は圧巻。大屋根に覆われた広場「ナカドマ」が話題となっている複合施設だ。

ナカドマには、市役所やホールの入り口と並んで、ガラス張りになった議場の一部が顔を出す。建物は、JR長岡駅とペDESTリアンデッキで直結し、大屋根広場のナカドマと周辺の回廊は、24時間利用可能で市民の憩いの場ともなっているとか。地下1階・地上4階で、市役所、アリーナ、多目的ホール、駐車場があり、総工費130億は高いか安いかわからない。鈴鹿市役所は106億円。



アオーレ長岡



## 休日保育の実態を見て、お聞きしました。

「休日保育の公開について」という案内を、ぐみの木保育園からいただき、見学・懇談してきました。

今年4月から「子ども・子育て支援新制度」が導入され、「新保育制度」になりました。新制度では、市町村を主体として地域ニーズを反映したサービス展開を掲げているが、実態はどうか？見てほしいということのようです。

今日は祝日ですが、製造業など休みでない職場が多いため、保育園児を持っている家庭は大変です。まず、日曜、祝日に預かってくれる保育園が少ないのです。公立保育園は10園あるが休日保育なし、私立保育園は31園あるが休日保育を行っているのは、ぐみの木保育園を含めて4園しかありません。そしてその4園の経営が大変なのです。

昨年度まで、日祝保育は1日3,100円から3,900円の休日保育料金を保護者の方に負担していただき、市(国)からも補助金がでていたようです。

ところが新制度になって、「保護者から利用料を徴収することはできません」ということになった。そうなれば当然、市から保育園に「休日加算」が支払われなければならないが、鈴鹿市は、まだ検討中で「休日加算」がどうなるかいっさいわからないとのこと。これでは日祝日に出勤してもらう保育士さんの賃金はどうするの？どうしてくれるの？ということでした。信じられないような実態がすすんでいます。

あわせてお聞きしたところによると、私立保育園の保育士さんたちの賃金は、公務員の半額以下の低賃金。みんな子どもが大好きで働いているが、暮らしは大変です。何とかありませんか？と聞かれました。

午後3時頃おじゃましたため、20人近い園児たちはお昼寝していました。この子たちの未来のためにも、よりよい子育て制度にしていかなければならないと思いました。(9月22日)



## 戦争法廃案！全国行動、鈴鹿でも過去最高！

「戦争法案廃案！安倍政権退陣！8.30国会10万人・全国100万人大行動」国会周辺には目標を超える12万人が集まったようです。鈴鹿では、鈴鹿ハンター南の弁天山公園で集会とパレードが行われ、何と300人もの方が集まりました。「安倍政権の暴走をストップさせたい。戦争法案は絶対ダメ！」の気持ちが集まりました。

ゲストスピーチの三宅裕一郎先生は「こ

の雨は安倍首相の涙だ！退陣までがんばろう」と訴えました。

中川正春衆議院議員のメッセージが紹介され、参加した鈴鹿の県会議員2名、市会議員は私も含め7名が紹介されました。



国会前行動にも参加。廃案まで頑張ります。

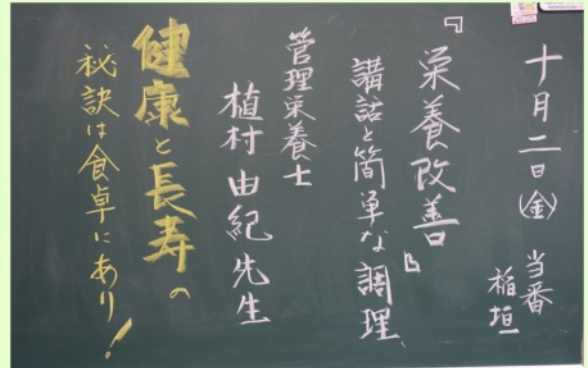


# 白子駅前「うらら」はいいな～

NPO「うらら」さんが毎週金曜日に白子駅前会館で開催している、介護予防教室に参加してきました。「うらら」さんの活動は「ふれあいいきいきサロン」から始めて13年、NPO法人で11年目という長い歴史を持っている。

今日の教室は「栄養改善・講話と簡単な調理」ということで、みんなでミルクきんとんを作っていただきながら、管理栄養士さんのお話「健康長寿の秘訣は食卓にあり」という演題で、「認知症予防の食べ方チェックリスト」にそって、解りやすくためになる話であった。

そのひとつ、「ごはんは毎食100g以上食べる」＝肥満や糖尿病対策でごはんやパンを減らしても食べないのはだめ、毎食100g以上を。炭水化物は脳の栄養になる。卵は優れたタンパク源1日1個は食べる。その他、牛乳、乳製品、大豆食品、肉と野菜、青菜など、意外と知らない（または間違っている）高齢者の食生活について学びました。



ミルクきんとんを頂きながら、理事長の橋爪さんにお話をうかがいました・・・毎週続けるのは大変ですが、NPO法人にして、スタッフ（社員）の皆さんと相談しながら活動できて楽しいです。毎週50人くらいの方が参加してくれます。80歳を過ぎた方も多いですが皆さん元気です。こういう活動が鈴鹿市中に広がってほしいですね。スタッフや講師はやる気になって探せば、医療や福祉の職場で働いていて定年した方など、たくさんいると思います。興味のある方はぜひ見学に来てください。行政の方も見学に来て広がってほしいです・・・お元気に圧倒されます。（10月2日）

**マイナンバーの取り扱いには十分注意しましょう。個人情報流出する恐れがあります。**

10月から「マイナンバー」の通知が各家庭に郵便で届き、来年1月から利用が開始される。

日本弁護士会もマイナンバー法の施行に関する会長声明を発表し、「マイナンバー制度自体が、プライバシー等に対する高い危険性を有している・・・現状での施行には大きな危惧がある・・・」との警告を発する

など、「マイナンバー」制度は多くの危険性が指摘されている。

しかし法律は施行され、住民票がある一人ひとりに番号が付けられ、その通知カードが送られてくる。どうするか？マイナンバーは危険との認識を持てば、いろいろ知恵がわく。①大事に保管する。②なるべく使わない。③「個人番号カード」は申請しない・・・など。

行政も、①なるべく使わない方法を考える。②マイナンバーの利便性だけでなく、危険性も合わせて市民に宣伝するなどが必要ではないか。